

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	春の小布施花巡り
事業主体 (連絡先)	小布施町 上高井郡小布施町大字小布施1491-2
事業区分	(5) 景観保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	578,472円 (うち支援金: 400,000円)

事業内容

当町は、花の町として、町民が自主的花づくりに取り組んでおり、約120件のオープンガーデンが町内全域に広がっている。しかし、町中心部から比べると農村部周辺への来町者は少なく、「春の小布施花巡り」を開催することで、町民・来町者が農村部までその活動を共に楽しみ交流できる場を提供する。また、オープンガーデンオーナーで駅前を花でおもてなしをすることで、心地よい空間を提供する。

- ・4月14日花の植え方テクニックを学ぶ講習会。駅入口を花でのおもてなしコーナーづくり
- ・6月2日～3日無料シャトルバスを運行し、14か所の停留所を設置自由に散策し花の交流を楽しむ。



【目標・ねらい】

- ・OPGオーナーと花による交流
- ・花によるまちづくり実践者の増加と住民への啓発
- ・駅利用者への花によるおもてなし
- ・心地よい空間の提供の啓発

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・支援金を活用したことで、当初計画より企画規模の拡大につながり、町内全域を範囲とした事業ができた。
- ・本事業は、家族で楽しめた。普段見学しない庭が拝見できた。株分けや育て方を知ったなどの声が多かった。
- ・駅前の花によるおもてなしコーナーについては、長野電鉄職員と協働し、駅構内やホームを花でおもてなし活動につながり、駅全体を花でのおもてなし活動に拡大できた。
- ・駅利用者から駅舎総合案内所において、花のおもてなしに感動し、花の町のイメージアップ向上やオープンガーデンへの誘客におおいにつながった。

※自己評価【A】

【理由】

- ・報道により、予想を超えた集客だった。
- ・民間企業も巻き込み、小布施駅を花でおもてなし活動へ繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・この事業を来年度も継続する予定である。この活動を軸とし、堤防沿いの桜堤の開花時期との連携や農村部の自治会イベントなどと協働した企画へと進化させたいと考える。
- ・小布施駅全体を花のおもてなし活動として継続する。(長野電鉄職員と協働で、春・秋と花の季節に応じた花の空間を提供していくことが決定している。)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	秋の緑育フェスタ
事業主体 (連絡先)	一般財団法人ながの緑育協会 026-214-8719
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	869,643円 (うち支援金: 486,000円)

事業内容

○秋の緑育フェスタの実施

緑育を推進するため、新たに完成した長野市役所第一庁舎西側広場ほかにおいて、緑育をテーマにしたイベントを行い、多くの市民が花と緑にふれあい、豊かな心を育む機会を設けた。

開催時期 平成30年10月6日(土) 10:00~15:00

主催 (一財)ながの緑育協会、長野市

場所 長野市役所第一庁舎西側広場

内容 花と緑の講演会、子供たちによるステージイベント、秋の山野草展、各種園芸教室の開催、花と緑の体験教室の実施

来場者 約1,000人



【花と緑の講演会の様子】

「ガーデンの魅力」

~恵泉蓼科ガーデンの四季を通じて~

【目標・ねらい】

- ①緑育の推進を図る
- ②未来を担う子供たちの参加
- ③市民との協働での事業の実施

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①花や緑にふれあう機会を設けたことにより、市民の緑化意識の向上、緑を大切にすることを育み、世代間交流につなげるきっかけづくりが出来た。

②会場周辺の地元の保育園、小学校の子供たちにイベントに参加していただくことで緑へ興味やの関心を持ってもらうことが出来た。

③ボランティアの参加やイベントの趣旨に賛同した企業や団体などの参加によりイベントを盛り上げていただいた。地元を含めた多くの方に参加していただくことで緑育を様々な客層、広範囲にPRすることが出来た。

※自己評価【 B 】

【理由】

内容や目的についてはおおむね達成できたと思うが、参加者が見込みより少ない部分があった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後もこうした緑にふれあい楽しみながら学んでいく機会を設け、緑育の推進につなげていきたい。また、ステージ参加だけでなく、地元の保育園、小学校などに会場を装飾する花やプランターを作成してもらうなど、花や緑をきっかけとした地域との連携をはかり、そこに地域の緑化団体などに参加していただくなど地域の活性化につなげていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	水と自然を大切にする心を育む実践事業
事業主体 (連絡先)	井上地域 水と自然を大切にする心を育む会 担当者 松村 潤一 携帯 090-1040-3373
事業区分	(5)環境保全、景観形成 (3)教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,162,759円 (うち支援金: 864,000円)

事業内容

児童や卒業生、地域の人たちが井上小学校と井上地域の象徴として守ってきた観察池の周辺や水車を整備することにより、自然と水に対し、また、故郷への思いを深め、自らが生まれ育ち学んだ学校や地域の美化活動、環境保全、景観整備活動を自主的・主体的に実施するよう、須坂市大字幸高 292 番地の井上小学校の観察池の周辺整備した。



【お披露目会】

【目標・ねらい】

- ①水と自然を大切にする心を育む。
- ②地域の美化活動
- ③資源物回収によりリサイクルの学習と物を大切にする心を育む。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 児童が学んだ地域の水と自然の学習発表がお披露目会であり、素晴らしい内容で児童も学べ、地域の人たちも改めて学ぶ場となった。
- ② 地域の人たちの積極的な参加により、観察池周辺の整備ができた。
- ③ 事業達成に向け、児童が中心となり、資源物回収を定期的に行い、賛同する地域の人たちもいた。保全活動に役立てるため、継続していく。

※自己評価【A】

【理由】

地域が慣れ親しんだ、学校の観察池周辺整備、水車復活、児童も喜んでいるため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・年2回地域の人たちによる観察池周辺整備を行い保全活動をしていく。
- ・保全活動の中で児童には水と自然を大切にする心を育んでもらう。
- ・資源回収を継続して行い、維持費に活用するとともに、物を大切にする心を育んでもらう。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	河東線記念公園整備事業
事業主体 (連絡先)	河東線記念公園運営協議会 須坂市役所 まちづくり課 (電話 026-248-9007)
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業 ②ふるさとを大切にすることを育む取組の促進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,513,905 円 (うち支援金: 1,859,000 円)

事業内容

- ・軌道跡地内の公園用地の整地、芝生張り、芝桜及び樹木の植栽、レール内を通行できるように枕木を活用した歩道の整備を同協議会のメンバーや地域住民の参加により手作りの公園整備を図った。
- ・同協議会のメンバーや一般住民の善意により、パーゴラ、記念樹、椅子、イルミネーションの電球を提供していただき公園整備に活用した。
- ・完成式典イベントの開催
(10月13日 河東線記念公園内及び㈱サンジュニア本社前特設ステージにて開催)
- ・イベントをはじめ整備した公園の散歩、電車の鉄道レール上で電動レールカーの試乗をおこなった。
- ・公園内で青空マルシェを開催 (11月23日)
- ・公園内をイルミネーションで装飾 (12月8日～現在)



【公園整備 (芝張り)】

【目標・ねらい】

- ① 地域資産を活用した新しい観光スポットの普及
- ② 地元企業・地域住民・行政による協働作業による環境整備

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・同協議会のメンバー、須坂創成高校、地域住民、ボランティアとの協働により、手作りの公園整備ができた。
- ・公園整備に参加した方々の思い入れを心に刻むことができ、身近な自分達の公園として認識されている。
- ・地域住民の交通や生活の利便性の向上につなげることができた。
- ・年1回のお祭りイベントや青空マルシェ等の開催により、公園の知名度が上がり、公園を訪れる方が増加している。
- ・周辺のオープンガーデンと連続性が保たれ、須坂の観光周遊スポットとして活用されることが期待される。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・引き続き地域の公園として人々が集まり、楽しめる公園であるように協議会や須坂創成高校、地域住民の協働により公園整備、公園祭り、青空マルシェ、イルミネーション等の定期的なイベントを開催して、市民などに安らぎと憩いの場所を提供していきたい。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・協議会のメンバーをはじめ地域住民との協働により、手作りの公園整備を図ることができ、より身近で思い入れのある憩いと安らぎを与える場所を市民等に提供することができた。
- また、貴重な歴史的財産を後世に残す公園整備や公園内のイベントなどを通じて通勤・通学をはじめ大勢の人が公園に足を運ぶようになっている。

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	須坂地域の花の潤い実践事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利法人 すみれ (須坂市大字高梨 93-2)
事業区分	環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,391,424 円 (うち支援金: 1,087,000 円)

事業内容

須坂市の玄関口地域の魅力を高めるため、高梨地区及び地区住民により、花いっぱい実践活動とその活動を支える人材育成を実施。

- ・国道406号線沿いの植栽、管理：6月～11月
- ・シンポジウム開催：6月25日 日野小学校
カナプロジェクト 橋凜保先生による
花いっぱいのまちづくり講演会
100名参加
- ・ベンチチェアの整備：12月



【ベンチチェア設置】

【目標・ねらい】

- ①花によるまちづくり実践者の増加
- ②観光客の増加

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①近隣の保育園・幼稚園の園児達、及び小学校の生徒達、また地区内の住民の参加する人が増え、花によるまちづくりの広がりを実感している。

小学校では、ビオトープへの花の植栽にも取り組み、生徒達が地域をきれいにしようとする関心の高さがみられるようになった。

②ベンチチェアの設置が冬場になってしまったが、天気の良い日には、花を眺める人の姿や休憩している人の姿が見られ活動の励みとなっている。

※自己評価【B】

【理由】

- ・花によりまちの景観がよくなった事で、参加する人の増加につながった。
- ・観光客の増加には直接つながらなかったが、継続する事により魅力あるまちづくりにしていきたい。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

国道406号線の花いっぱいのまちづくり活動について、須坂建設事務所とも『信州ふるさとの道ふれあい事業』の協定書を取り交わしており、活動を継続していくことにより、地域の方のくつろぎの場や、市内外の方へのもてなしの場を提供できるように展開していきたい。

また、花によるまちづくり活動により、保育園や小学校との連携を図り、継続していく事で、子供達の植物に対する意識を高め、人材育成に取り組んでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	花の里信更センター整備事業と花木の植栽会
事業主体 (連絡先)	【元気な信更町花の里実行委員会】 長野市信更町安庭 535 番地 会長 吉澤和宏 ☎・FAX 026-299-2641
事業区分	主となる区分 ⑤環境保全・景観形成に関する事業 関連する区分 ③教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	【長野地域】 イ、ふるさとを大切にする心を育む取り組みの促進
総事業費	事業費 1,181,504 円 支援金額：873,000 円)

事業内容

- * 総合案内板 1カ所 各所案内板 5カ所の設置
- * 休息のベンチ 14基の設置
 - ・近年、県道 篠ノ井~大岡車利用者の立ち寄り者が増加。町内外の来訪者に全体案内、各所案内板を設置。周辺の環境を整備し利-用の向上を計る。
- * 「花と花木の植栽会」の開催
 - ・信更中学生徒と共働で昨年に続き花壇増設。校章・校歌に歌われる、すずらんと主にフジバカゆり等の植栽。郷土愛を育てると共にアサギマダの生息地を目指す。
- * 花と花木の植栽会と移住者との交流会の開催
 - ・農山村公園の更なる充実を高めると共に移住者との交流で連帯と絆を深め活気ある町づくりを目指す。



総合案内板取り付け。丸太 ベンチ据え付け。



【目標・ねらい】

* 「花の里信更センター」を発信基地に町内に花づくりを広め、「活気」と、「潤い」「生きがい」のある町を目指す。

※自己評価 【 A・B 】

【理由】・予定の事業はすべて完了した。
・「若者会議」との交流が、休日での作業日開催が出来なかつた。

事業効果

- ① 案内板の設置・花と花木の植栽で、景観整備が整い来訪者に周知が図れ、今後、利用者の増加が期待できる。
- ② 町民憩いの森として、今後スポーツ・町の催事リクレーションが楽しめる利用の効果が期待できる。
- ③ 住自協と共催で行った移住者との交流会開催 (多目的広場) 参加者 46名。移住者と会員との交流が深められ、今後移住者の促進に期待できる。

今後の取り組み

- ① 町内「花の会」設立 今後2地区を目標。
- ② 移住者・「若者会議」より、会員の増員を図り持続・継続的に会の存続に努める。
- ③ 町内外の交流を広め利活用を、高める。
- ④ 幼時・小学児童利用の為、アスレチック遊具の改修を促進する。

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	どうぶつ達と自然と共に生きる地域づくり ～いのちの授業～
事業主体 (連絡先)	社)NGO Life Investigation Agency 090-1115-5988
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業 (3)教育
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,554,566円 (うち支援金:1,941,000円(上限額))

事業内容

千曲市内でも、開発などにより、ツキノワグマ、クマタカ、イヌワシ、ヤマネなどが著しく個体数を減少させている。このままでは、地域絶滅する可能性が高い。また千曲川は、人間生活から排出されたゴミが非常に多く、水質が著しく悪い時があり、千曲川本流域ではメダカが地域絶滅したと思われる。これ以上の生物の絶滅を引き起こさない為に、また千曲川の環境を改善してゆく為に、地域の子ども達に「いのちの授業」を行い「地域に暮らす野生鳥獣と共存共生して行くには、どうすれば良いのか?」「千曲川にゴミが無いようにするには、どうすれば良いのか?」を子ども達自身に考えてもらい、それぞれが実践して行く事を目的とした授業を行った。

事業効果

- ① 地域に暮らす野生鳥獣について理解した。
- ② ゴミを減らす方法について理解した。
- ③ 命を守る仕事がある事を理解し、関心が高まった。
- ④ 千曲市の自然環境への理解が広がった。

※毎授業後、子ども達へアンケートを行った。

アンケートの結果から、子ども達の関心や理解度がわかり、本事業の効果が伺えた。

※自然環境および地域の野生鳥獣へ関心がある子ども達の数(授業前の人数)を0(ゼロ)として、①楽しかった人85.2%。よくわかった人67.2%。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

授業後のアンケートで「あまり楽しくなかった」と答えた子どもが3名いた。次年度は「あまり楽しくなかった」という子どもの数をゼロに出来るように、子ども達の関心がより高まり、更なる効果が得られるように、授業内容や資料となる動画や写真の作成に努めて行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【五加小学校授業】

【目標・ねらい】

- ①野生鳥獣との共存共生
- ②ゴミ自体の量の削減
- ③次世代の「環境リーダー」育成
- ④「ふるさと」の自然環境への愛着

※自己評価【 A 】

【理由】

事業計画時、15%増程度の効果を見込んでいたが67.2%増の結果となったため。